



国民春闘共闘

第40号
2016年8月17日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2016 夏季一時金・第4回集計（最終）

単純平均 1.89 ヶ月 632,340 円 加重平均 643,490 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は8月8日、第4回目となる2016年夏季一時金最終集計を行い27単産・部会558組合から報告が寄せられました。

< 回答状況 >

| | 2016年 | 2015年 |
|---------|-------------|-------------|
| 登録組合数 | 734 | 741 |
| 回答組合数 | 558 (76.0%) | 572 (77.2%) |
| うち上積み獲得 | 102 (18.3%) | 139 (24.3%) |
| うち妥結組合数 | 429 (76.9%) | 414 (72.4%) |

< 回答内容 > (月数および金額)

| 集計方法&対象 | | 2016年 | 2015年(同期) | (前年比) |
|---------|---------|---------|-----------|----------|
| 単純平均 | 月数 | 1.89 | 1.88 | + 0.01 |
| | 額(円) | 632,340 | 632,384 | - 44 |
| 加重平均 | 額(円) | 643,490 | 656,861 | - 13,371 |
| | 組合員数(人) | 145,411 | 157,963 | |

* 額または月数のみの報告があるため、双方は連動しません。

< 前年実績と比較可能な組合における回答状況(金額での比較) >

| | 2016年 | 2015年 |
|---------------|-------------|-------------|
| 前年との比較が可能な組合数 | 247 | 265 |
| うち前年額以上の組合 | 153 (61.9%) | 175 (66.0%) |
| (前年超) | 139 | 156 |
| (同 額) | 14 | 19 |

< 前年実績と比較可能な組合における単純平均額・月数の比較 >

| | | 組合数 | 金額・月数 | 前年実績 | (前年比) |
|------|------|-----|---------|---------|---------|
| 単純平均 | 額(円) | 247 | 651,547 | 648,278 | + 3,269 |
| | 月数 | 448 | 1.90 | 1.89 | + 0.01 |

< 集計結果の概要 >

回答引出し状況

2016年夏季一時金の第4回目となる最終集計は、別表の27単産・部会での集計となりました。登録734組合のうち558組合が回答を引き出し、回答引出し率は76%となりました。前回調査（7月15日現在：516組合・70.3%）から42組合・5.7%増加しましたが、前年同期（2015年8月7日現在：572組合・77.2%）を1.2%下回りました。

単産・部会別に回答引出し率をみると、回答引出し率100%は合同繊維、検数労連、郵政ユニオン、全倉運、外銀連の5単産で、9割台がJMITU（93%）、化学一般労連（91.7%）、映演労連（90.9%）の3単産、8割台が日本医労連（89.8%）、生協労連（88.2%）、JMITU通信産業本部（84.6%）、民放労連（80.8%）、出版労連（80.6%）、金融労連（80%）の7単産・部会、7割台が地方マスコミ（79.4%）、特殊法人労連（77.8%）、全農協労連（75.8%）、建交労・鉄道（71.4%）、建設関連労連（70.8%）、全印総連（70.6%）の6単産・部会と続いています。

規模別にみると、1000人以上（88.9%）、300～999人（89.6%）、100～299人（89.1%）、30～99人（73.3%）、29人以下（60.1%）と大規模・中規模組合で高率となっています。

春闘期での一時金交渉組合も含め、数次にわたる上積みを獲得したのは回答引出し組合の18.3%にあたる102組合となっており、前年同期（139組合・24.3%）を6%下回りました。

最高次数は民放労連の組合での7次回答で、JMITU、化学一般労連、民放労連、映演労連での4組合が5次回答、民放労連、日本医労連、地方マスコミでの3組合が4次回答、JMITU（8組合）、日本医労連（5組合）、化学一般労連、映演労連（各3組合）、民放労連、地方マスコミ（各2組合）、金融労連、出版労連（各1組合）の計25組合が3次回答と続いています。

全体の回答内容

月数回答のあった503組合での単純平均月数（一組合あたりの平均）は1.89ヵ月で、前回調査（1.90ヵ月）から0.01ヵ月減となりましたが、前年同期（1.88ヵ月）を0.01ヵ月上回りました。

金額回答のあった285組合での単純平均額（一組合あたりの平均）は632,340円で、前回調査（637,162円）から4,822円減となり、前年同期（632,384円）を44円下回っています。

加重平均額（組合員一人あたりの平均）は643,490円で、前回調査（647,803円）比4,313円減となり、前年同期（656,861円）を13,371円下回りました。

全体での回答状況は、春闘での賃上げ集計同様に、前年並みの水準に止まりましたが、出版労連の2組合が5ヵ月の回答を引き出したのをはじめ、月数回答組合の46.3%にあたる233組合（前年同期：231組合・45.1%）が2ヵ月以上の回答を引き出し、そのうち34組合（前年同期31組合）は3ヵ月以上を獲得しています。なお、最高額は出版労連の組合での2,567,440円で、100万円以上の高額回答を引き出した組合は前年同期と同じく26組合となっています。そのうち6組合（前年同期9組合）が150万円以上を勝ち取っています。

単産・部会別に平均月数をみると、全証労協（3.45ヵ月）、外銀連（3.4ヵ月）が平均3ヵ月以上となっているのをはじめ、民放労連（2.93ヵ月）、建交労・鉄道（2.58ヵ月）、映演労連（2.58ヵ月）、JMITU通信産業本部（2.51ヵ月）、出版労連（2.42ヵ月）、地方マスコミ（2.4ヵ月）、全倉運（2.32ヵ月）、化学一般労連（2.17ヵ月）、JMITU（2.12ヵ月）、特殊法人労連（2.04ヵ月）の12単産・部会が平均2ヵ月以上となっています。

単純平均月数で前年同期と比較可能な 22 単産・部会のうち、建設関連労連、化学一般労連、合同繊維、検数労連、JMITU 通信産業本部、全労連・全国一般の卸売・小売、出版労連、日本医労連、特殊法人労連、地方登録組合、地方マスコミの 11 単産・部会が前年同期を上回り、郵政ユニオン、外銀連が前年同月数、その他 9 単産・部会が前年同期比マイナスとなっています。

金額での水準をみると全証労協、民放労連が単純・加重平均 100 万円超となっている他、建交労・鉄道、出版労連、映演労連、地方マスコミなどが高水準となっています。

規模別にみると、29 人以下（2.08 ヲ月）、30～99 人（1.92 ヲ月）、100～299 人（1.85 ヲ月）、300～999 人（1.73 ヲ月）、1000 人以上（1.73 ヲ月）と中小規模組合での奮闘が伺える結果となっています。

前年実績比較可能組合での回答状況

同一組合での対比が可能な 448 組合での単純平均月数の結果を前年実績と比べると、今期は 1.90 ヲ月で、前年実績 1.89 ヲ月を 0.01 ヲ月上回っています。金額では 247 組合の単純平均で 651,547 円と、前年実績 648,278 円を 3,269 円上回っており、引上げ率は 0.5%となっています。前年実績と比較可能な組合では単純平均月数・額ともに前年実績から微増しています。

月数で対比可能な 448 組合のうち 80.1%にあたる 359 組合が前年実績を確保し、145 組合は前年実績以上の回答を勝ち取っています。金額では全印総連の組合が前年実績 21 万円余増を勝ち取ったのをはじめ、対比可能 247 組合のうち 61.9%が前年実績額以上となっています。

前年実績比較可能組合での回答状況は、6 月 10 日の第 1 回集計から前年実績比微増を維持しながら推移しました。

妥結状況

回答を引き出した 558 組合のうち妥結したのは 429 組合で、妥結率は 76.9%となりました。前年同期（414 組合・72.4%）を 4.5 上回っています。

単産・部会別にみると、妥結率 100%は、建設関連労連、合同繊維、建交労・製造、全労連・全国一般の製造、建交労・鉄道、検数労連、郵政ユニオン、全倉運、外銀連、全証労協となっています。回答引出し率 100%の合同繊維、検数労連、郵政ユニオン、全倉運、外銀連では全登録組合で妥結しています。また、残る組合も交渉を継続し収拾に向かいつつあります。

非正規雇用で働く仲間の一時金回答状況

パートやアルバイト、再雇用など非正規雇用で働く仲間の夏季一時金獲得は、日本医労連の 94 組合をはじめ、生協労連（73 組合）、全農協労連（15 組合）、JMITU、出版労連（各 8 組合）、金融労連（6 組合）、全印総連（3 組合）、映演労連（2 組合）、建交労、化学一般労連（各 1 組合）の計 10 単産 211 組合で 321 件の成果獲得となっています。前年同期（2015 年 8 月 7 日現在：9 単産 178 組合 276 件）を 33 組合 45 件上回っています。

このうち、パートやアルバイト（再雇用・継続雇用で働く仲間を除く）などを中心とした時給制で働く仲間の一時金獲得は、日本医労連（94 件）、生協労連（80 件）など 9 単産で 192 件となりました。

月数回答報告のあった 137 件での単純平均は 0.753 ヲ月で、前年同期（135 件平均 0.732 ヲ月）を 0.021 ヲ月上回っています。金額では 48 件平均 58,547 円で、前年同期（39 件平均 54,911 円）

を 3,636 円上回っています。前年実績比較可能な組合をみると、前年実績比 0.006 カ月・360 円減となっており、回答水準はほぼ前年並みとなっています。

日給制では出版労連の組合が前年実績を 0.1 カ月分上回る 1.7 カ月分の回答を引き出しています。

月給制（臨時・準職員・契約社員など）で働く仲間の一時金は、生協労連（72 件）、全農協労連（17 件）など 8 単産で 100 件の成果を獲得しています。

月数回答報告のあった 82 件での単純平均は 1.009 カ月で、前年同期（66 件平均 0.894 カ月）を 0.115 カ月上回り、金額では 23 件平均 138,118 円と前年同期を 35,571 円下回っています。同一組合での前年実績比をみると 0.038 カ月・19,442 円増となっています。

また、再雇用・継続雇用で働く仲間の一時金は、時給制で 10 件、月給制で 18 件の計 28 件の成果獲得となっています。

時給制では生協労連で 3 組合が 1 カ月の回答を引き出すなど、単純平均で 0.538 カ月（8 件平均）・58,347 円（4 件平均）となっています。月給制では、JMITU、出版労連の組合で 3 カ月の回答を勝ち取るなど、単純平均で 1.375 カ月（12 件平均）・92,333 円（6 件平均）となっています。

全体として回答水準は正規雇用労働者に届いていないものの、JMITU、出版労連で 3 カ月の回答を引き出したのをはじめ、化学一般労連でも 2 カ月以上の成果を勝ち取るなど、正規雇用労働者と同水準の回答を獲得している組合も多くあります。また、「パート労働者の一時金 58 万円余」（JMITU）、「月給制契約社員 52 万円余」（建交労）、「嘱託職員 32 万円余」（生協労連）などの報告も寄せられています。

< 参考 > 他団体の夏季一時金集計結果

連合の夏季一時金（7/1 集計）は以下のとおりです。

金額（円）

| 集計組合 | | 加重平均 | | 単純平均 | |
|-------|-------|----------------|---------|----------------|---------|
| 組合数 | 人数（万） | 2016 年 | 前年実績 | 2016 年 | 前年実績 |
| 1,885 | 123.6 | 752,489 | 732,854 | 519,478 | 516,898 |

月数（カ月）

| 集計組合 | | 加重平均 | | 単純平均 | |
|-------|-------|-------------|------|-------------|------|
| 組合数 | 人数（万） | 2016 年 | 昨年実績 | 2016 年 | 前年実績 |
| 2,587 | 183.6 | 2.44 | 2.37 | 2.11 | 2.03 |

* 前年実績は前年同時期実績

日本経団連の夏季一時金妥結集計（大手企業 = 8/4 現在・最終）は以下のとおりです。

| 集計対象 | 集計企業 | 加重平均額 | | 単純平均額 | |
|------|-------|----------------|---------|----------------|---------|
| | | 2016 年 | 前年実績 | 金額 | 昨年実績 |
| 大手企業 | 141 社 | 905,165 | 892,138 | 769,194 | 757,171 |

STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法
暮らしまもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化